

明星



<http://www.kameyama.mie.jp/kblog/shirakawa/>

亀山市立白川小学校 第12号

令和5年7月13日（文責：平野）

「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し求め続ける白川っ子の育成～

☆第2回学校運営協議会が開催されました＜7月6日（木）＞☆

7月6日（木）第2回学校運営協議会が開催されました。第2回の運営協議会では、1学期の教育活動の報告、今後地域にお世話になる総合的な学習の時間の体験活動の内容の確認が行われました。そのあと、亀山市防災対策課の安田様小田様を講師にお招きし、「子どもたちを災害から守るために」というテーマでご講演をいただきました。今回は特に、子どもたちの登下校中に地震などの自然災害が発生した時に、大人がどのような対応をとるのか、子どもたちが自分で自分の命を守るために、学校や家庭が事前にどのような指導をするべきなのかについて、お話をいただきました。また、白川小学校の通学路における災害時の危険個所を具体的にお示しいただき、保護者や地域の皆さんから、大変勉強になったとの声をいただきました。



学校がやっておくべきこと、大人たちが災害時の行動に備えて考えておくべきこと、実行しておくべきことを確認できたよい機会となりました。

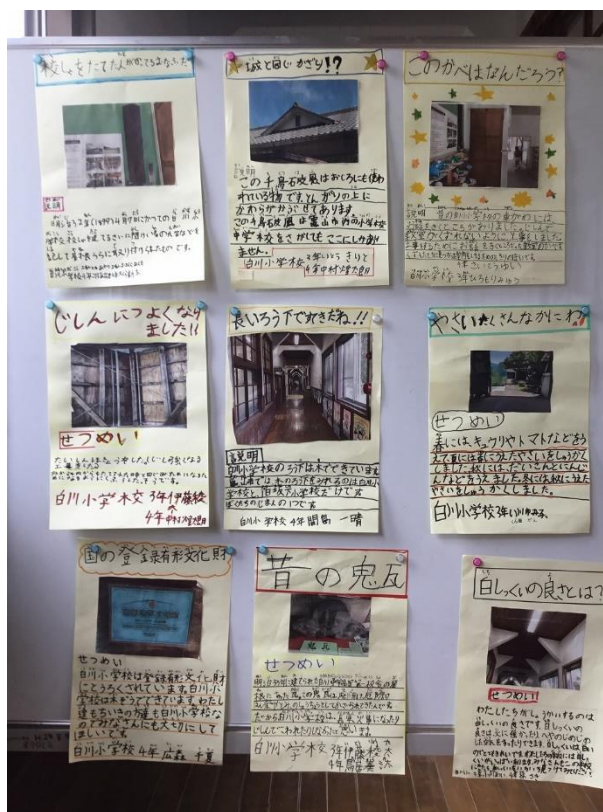
☆6年生が、中日新聞の取材を受けました＜7月5日（水）＞☆

3限目、中日新聞の横田記者から、6年生の子どもたちが白川小学校の校舎について、取材を受けました。白川小学校は、現在の校舎が建築され69年が経過し、大変歴史があり、登録有形文化財にも指定されている校舎ですが、子どもたちにとっては、毎日の生活を送ったり、学習をしたりするところで、特別な感想や思いが、あまりないというのが正直なところでした。



子どもたちからは、白川小学校の校舎等に対する素直な気持ちがコメントされていました。

今、3・4年生では、白川小学校の歴史について学習をしています。白川小学校の屋根には、お城にも使われる、千鳥破風があることや、木の廊下があるのは、市内では白川小学校と坂下小学校だけであること、白漆喰の良さや、今の音楽室は昔講堂だったことなどが調べられていました。今回の取材をき



っかけに、自分たちが、どれほど素晴らしい校舎で毎日を過ごしているか、今の校舎をいつまでも大切にしてもらいたいと感じました。

☆☆1学期の通知表について☆☆

令和5年度の1学期の通知表より亀山市内の小中学校が「校務支援システム」（児童の成績、指導要録の記録が一元管理できるシステム）を導入したため、通知表の形式も市内の小学校で統一したものとなります。

学習の様子については、次の観点で評価します。

- (1) 知識・技能
- (2) 思考・判断・表現
- (3) 主体的に学習に取り組む態度

1・2年生は「できる」・「がんばろう」の2段階、3年～6年は「よくできる」・「できる」・「がんばろう」の3段階で、評価します。

生活の様子については、児童個人の「特に頑張りがみとめられ、達成されている項目」に「○」が記入されます。評価項目において、「達成されている項目」については「無印」となります。また、「改善が望まれる項目」については、「△」となります。

通知表の、詳しい内容につきましては、後日別紙にて、お伝えさせていただきます。